

# 『よさ、とりえ、輝く個性を伸ばし、笑顔あふれる学校』



## 学校教育目標

よく考え進んで学ぶ生徒  
誠実で思いやりのある生徒  
心身ともにたくましい生徒

令和元年12月2日発行 第8号 行田市立長野中学校 TEL 048-554-2240  
ホームページアドレス <http://www.gyoda-naganochu.ed.jp/news/>

## 長野中教育歳時記



校長 漆原 亮

### 1. 授業実践：「主体的・対話的で深い学び」



現在の学習指導では、知識の理解の質を高め、資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」の実践が求められています。

11月の校内授業研究会では、そうした授業のあり方について研修を深めました。

当日指導者を迎え、1年生の社会科の授業実践をもとに研究協議を進めました。

社会科の授業という、かつては「1192 (いい国) 作ろう鎌倉幕府」として、鎌倉幕府の成立は1192年と覚えたものでした。(しかし、最近では「1185 (いい箱) 作ろう鎌倉幕府」と成立年代が覆ってきたようです。) 年号を覚えたり、太字で示された重要なポイントを暗記したり、といった学習だったなあ、と思い起こす方もいらっしゃるかもしれません。

しかし現在では、データや資料などから課題について考え、個人で考察し、後にグループで個々の意見を交換しながら問題の本質にアプローチするといった学習が展開されています。こうした取組によって、『知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成』を図ってきているわけです。それというの、今後大きく変化し、多様化していく社会を、子供たちはたくましく生き抜いていかなければなりません。その資質・能力の礎を築くため、日々の授業の中で工夫・改善に取り組んできております。

### 2. リフレーミング (reframing)



3年生の進路面接を校長室で行っています。折り目正しく、しっかりと質問事項に答え、誠実さが伝わってくる心地よさを感じています。それは3年生が部屋を去った後もそうした余韻が残っているようにさえ思えるほどです。

その面接の中で、「長所」と「短所」を尋ねていますが、こんなやりとりがありました。

校長 : あなたの長所は何ですか？

生徒A : 決めたことは粘り強く取り組むことができることです。

校長 : それでは短所はどうですか？

生徒A : 執着して融通がきかないところです。

また別の例では、

校長 : あなたの長所は何ですか？

生徒B : 周りの空気を読んで協調して行動ができます。

校長 : それでは短所はどうですか？

生徒B : 空気を読みすぎて、流されてしまうことです。

こうした考えを聞いて「なるほどなあ。」と膝を打つ思いでした。そこで頭に浮かんだのがリフレーミングでした。リフレーミングとは、「視点を変える」または、「物事を見る枠組み (フレーム: frame) を変えて、別の枠組みで見直す (re-frame)」という意味だそうです。たとえば、次のような例が挙げられています。

・口下手 → 聞き上手 ・飽きっぽい → 好奇心旺盛 ・意志が弱い → 柔軟性がある

・計画性がない → 臨機応変 ・暗い → 落ち着いている ・こだわる → 信念が強い

どんな物事でも、見方を変えるとまた別の一面が現れてきます。物事の見方を変えて、肯定的な意味や価値を見出し、「どんな状況でも、肯定的な側面があるんだ」と知ること  
で、卑下することなく、前向きに成長に向かって歩を進めていくことができます。  
それがまた自信となって相乗的に自己肯定感や自尊感情を伸ばし、たくましく生き  
抜く素地となっていくと思います。

また、そうした複眼的なものの見方を身に付けながら、豊かな見方・考え方の  
のできる、視野の広い人になってほしいと思います。



### 3. 生徒会選挙：継承と進展



11月13日、生徒会長選挙・立合演説会が、生徒会選挙管理委員会の運営により実施されました。

各候補ともこれからの長野中をしっかりと視野に入れ、熱く、そして堂々と、その思いの丈を語ってくれ

ました。各候補、応援演説者のスピーチの内容もさることながら、それを熱心に聞く生徒の姿もすばらしいものでした。まさに真剣そのものの立合演説会となりました。

現生徒会執行部が取り組んできた有意義な活動、その中には今年度初めての取組もあり、不断の努力により成果を上げてきましたが、それらを長野中の伝統として継承するとともに、新生徒会はまだ新たな実践を手掛けていくことと思います。

というも、どの候補者も活気ある生徒会活動を創造し、生徒会会員相互の絆や学校生活の充実を図るため、生徒会の先頭に立ってよりよい校風を築いていく、その堅固な信念と行動力が聴衆であるフロアの生徒一人一人に伝わってきました。と同時に、選挙公報と演説をしっかりと受け止め一票を投じようとするその姿に、長中生全員で長中生徒会を盛り立てていこうとする気概が感じられました。まさに、ラグビーW杯で輝きを放った“ One Team ”のように。



## 12月行事予定

12月4日～10日 人権週間です

3	火	A短、専門委員会
4	水	小中連携あいさつ運動、北埼玉技術家庭科授業研究会
5	木	A短、小中連携あいさつ運動
6	金	A短、生徒会引継ぎ式(放課後)、西の市
10	火	2年生職場体験事前訪問、安全の日
11	水	まきば園訪問、
12	木	A短、AED講習会(2年生)
13	金	午前A短、1、2年生期末PTA
20	金	給食終了
23	月	学活、集会、③大掃除、
24	火	2学期終業式
25	水	冬季休業日(~1/7)
27	金	仕事納め

世界人権宣言が採択された日である12月10日は「人権デー」です。そして、12月10日を最終日とする1週間(12月4日から同月10日まで)が「人権週間」と定められています。



長野中には左のような記念碑があります。記された『敬愛』とは「尊敬し、親しみの心を持つこと。」という意味です。

長中生一人一人がこの『敬愛』の精神を持ち、お互いを尊重し親しく交流して学校生活を送ってほしいと思います。

「みんなで築こう 人権の世紀 ~考えよう  
相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心~」